

## サルモネラ用寒天培地（粉末培地） 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

### 1. 特徴

この寒天培地は、サルモネラをシトロバクター、大腸菌、エンテロバクター、クレブシエラ等の菌から選択的に検出ができるようにしたものです。培養後サルモネラは黒色のコロニーを形成し、培地色は赤色を呈します。その他の菌は発育したときにはコロニーの色は透明で培地は緑色を呈します。シトロバクターフロインディイも黒色のコロニーを形成しますが、培地は緑色を呈します。

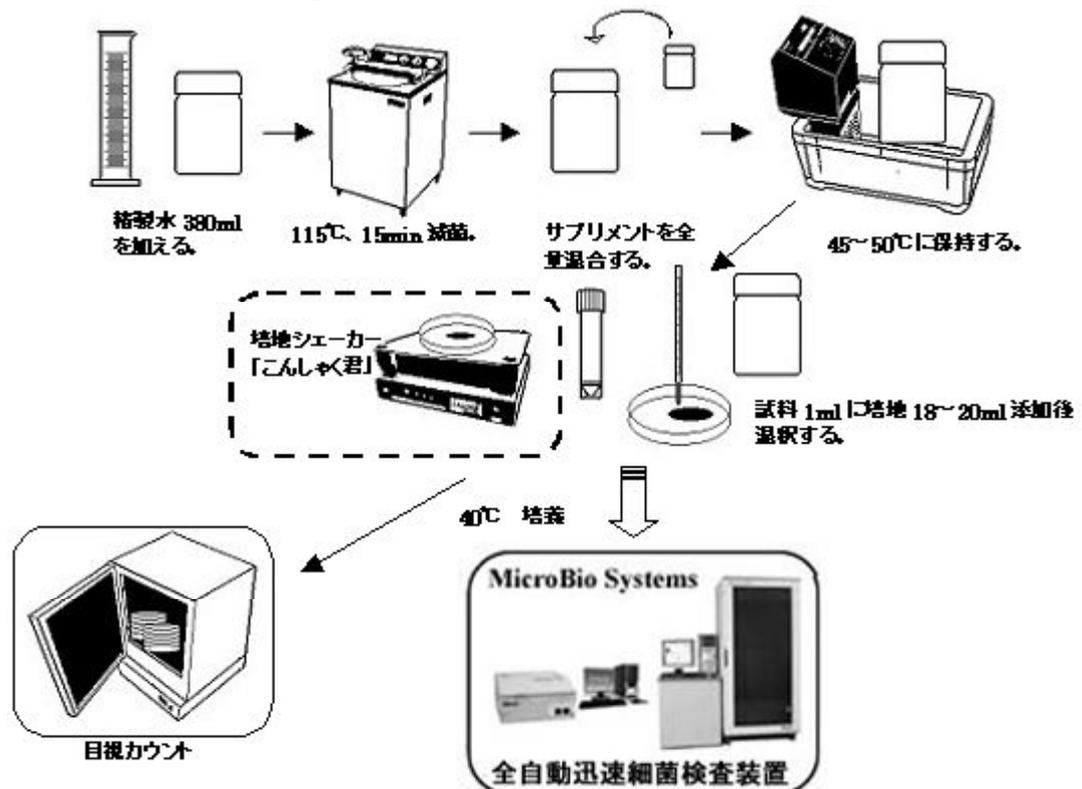
### 2. 概要

サルモネラは、各種家畜や家禽類の腸管に保菌されていることから食肉、牛乳、卵、淡水魚などを使用した食品が本菌で汚染される危険性があります。サルモネラ・エンテリティディス(*S. enteritidis*)は、卵及び卵製品の食中毒原因菌であることが多いことから、「食品衛生法」では加熱食肉製品及び食鶏卵の殺菌液卵(鶏卵)について陰性であることが定められています。また、養殖業界やペットフード業界においては、飼料の原材料中にサルモネラとシトロバクターが混在していてサルモネラ検出を困難にしていることが問題となっています。

### 3. 使用方法

#### 混釈培養法の場合

- 3-1 粉末寒天培地の入ったポリプロピレン容器に精製水380mlを加え、よく振って混和させ、溶解します。
- 3-2 容器のキャップをゆるめに締め、オートクレーブに容器を入れて、温度を115℃に設定して15分間滅菌します。
- 3-3 滅菌終了後、60℃以下に冷却した培地溶液にサプリメント20ml全量を添加し、泡立たないように混和します。
- 3-4 上記溶液を45～50℃に保持し、試料が1ml注入されたシャーレに培地溶液18～20ml加え、混釈します。(弊社製品こんしゃく君を使用すれば、よりムラなく一定に混釈できます。)
- 3-5 培地を冷却凝固させ、乾燥させた後、蓋を下にし40℃にて培養します。MicroBio system で測定すれば全自動で速く正確にコロニー数がカウントできます。

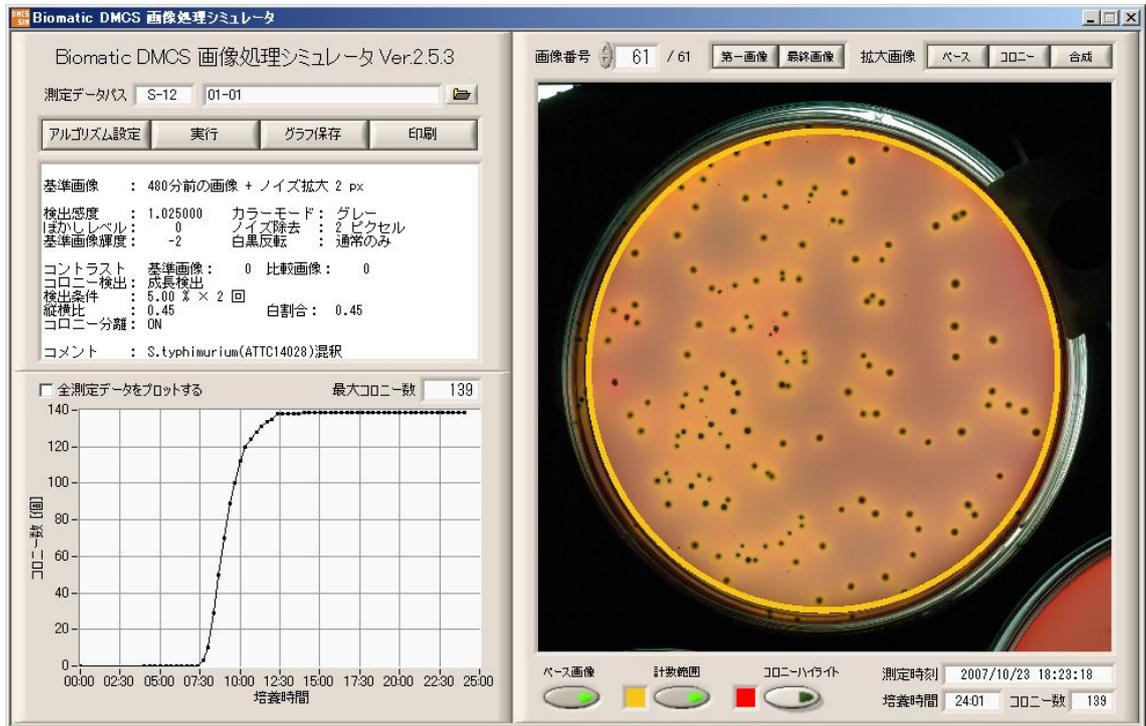


### 4. 培地の保管方法

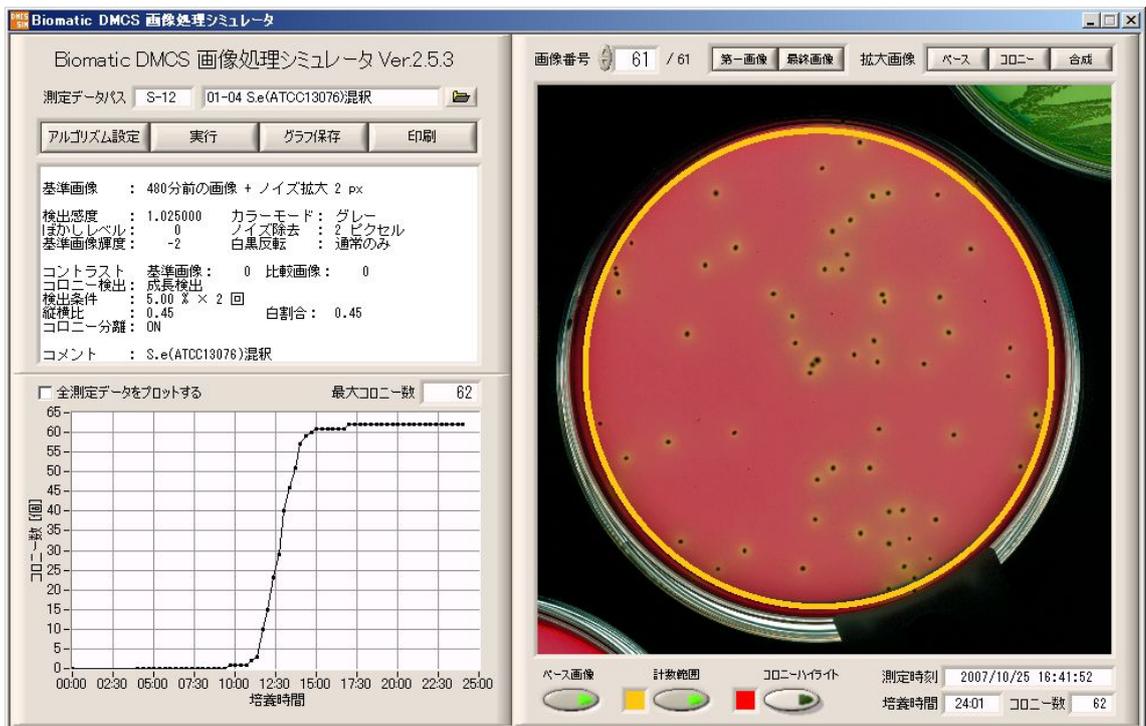
培地は、室温(20℃以上)の暗所で保管して下さい。

## 5. MicroBio system を使用した DCM001 の発育測定例

### 5-1 1ml混釈培養法: 標準菌株 *Salmonella typhimurium* (ATCC14028)のDCM001での発育 [MicroBio systemを使用すれば、13時間で検出確定] 40°C培養



### 5-2 1ml混釈培養法: 標準菌株 *Salmonella enteritidis* (ATCC13076)のDCM001での発育 [MicroBio systemを使用すれば、16時間で検出確定] 40°C培養



5-3 1ml 混釈培養法 標準菌株 *Klebsiella pneumoniae* (ATCC33495) の DCM001 での発育  
 [MicroBio systemを使用すれば、20時間で検出確定] 40°C培養

